

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	公益社団法人鹿児島県歯科医師会立 鹿児島歯科学院専門学校
設置者名	伊地知 博史

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数	省令で定める基準単位数	配置困難
医療専門課程	歯科衛生士科	夜・通信	10 単位	10 単位	
	歯科技工士科	夜・通信	7 単位	7 単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

http://www.kdic.ac.jp

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	公益社団法人鹿児島県歯科医師会立 鹿児島歯科学院専門学校
設置者名	伊地知 博史

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	鹿児島歯科学院専門学校 学校関係者評価委員会
役割	本校職員による学校自己評価および本校の歯科衛生士および歯科技工士養成の教育に係る活動等について検討し、助言や評価を行う。 本委員会での助言をもとに、学校運営小委員会等で検討し、より良い学校運営が行えるように努める。

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考 (学校と関連する経歴等)
鹿児島大学大学院医歯学総合研究科教授	2026.4.1～2027.3.31	医歯学教育有識者
鹿児島大学歯学部名誉教授	2026.4.1～2027.3.31	歯学教育有識者
鹿児島県歯科用品商組合会長	2026.4.1～2027.3.31	関連企業
全日本ジャズ体操協会副会長	2026.4.1～2027.3.31	健康運動指導士
(備考)		

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	公益社団法人鹿児島県歯科医師会立 鹿児島歯科学院専門学校
設置者名	伊地知 博史

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。 (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) ・授業計画(シラバス)の作成は、前年度中に各非常勤教員へ見直しや作成を依頼し、最終的には専任教員が集約し完成させている。 各非常勤教員からいただいた授業計画を冊子にして、新入生が入学後に配布し説明をしている。公表時期は、4月30日までには行う。	
授業計画書の公表方法	http://www.kdic.ac.jp/course
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。 (授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) ・単位の授与にあたっては、前期試験および後期試験を実施し、100点満点の60点以上を合格とし、合格であれば単位を与え、履修を認定している。 成績評価方法や基準については、シラバスに記載しており、担当教員が厳格かつ適正に評価し履修を認定している。	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) ・一科目 100 点満点。各試験科目の平均点、学生個々の平均点およびクラス全体の平均点を算出している。 つまり、履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出する方法を用いて、客観的な指標として設定している。前期および後期試験を2回実施しており、いずれも同様の方法を用いている。	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	http://www.kdic.ac.jp/course
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) ・すべての単位を取得した者には、校長が卒業を認定し卒業証書を授与している。また、歯科衛生士および歯科技工士に関する基礎・基本の学習と専門的な教育を徹底すると共に、最終的には知識・技術・人間性豊かな力を身につけた学生に卒業を認定する。	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	http://www.kdic.ac.jp/course

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	公益社団法人鹿児島県歯科医師会立 鹿児島歯科学院専門学校
設置者名	伊地知 博史

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.8020kda.jp/guide/document/
収支計算書又は損益計算書	https://www.8020kda.jp/guide/document/
財産目録	https://www.8020kda.jp/guide/document/
事業報告書	https://www.8020kda.jp/guide/document/
監事による監査報告（書）	「鹿児島県歯科医師会定時総会日程」へ掲載 ※閲覧方法・・・閲覧申請書の提出により可 （鹿児島県歯科医師会事務局内据え置き）

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
医療分野		専門課程	歯科衛生士科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	107 単位	84 単位		23 単位		
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
150 人		92 人	0 人	3 人	81 人	84 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）・授業計画（シラバス）の作成は、前年度中に各非常勤教員へ見直しや作成を依頼し、最終的には専任教員が集約し完成させている。各講師から頂いた授業計画を冊子にして、新入生が入学直後に配布し説明を行っている。 歯科衛生士・歯科技工士の養成に関する指定規則をもとに、効果的な教育を行えるように、専任打合せ会、教務打合せ会、学校運営小委員会等の会議で検討している。
成績評価の基準・方法
（概要）・前期試験および後期試験を実施し、100 点満点の 60 点以上が合格で、合格者には単位を与えている。本試験不合格者には、再試験を実施し再試験も 100 点満点の 60 点以上が合格である。履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出する方法を用いて、客観的な指標として設定している。前期および後期試験を 2 回実施しており、いずれも同様の方法を用いている。

卒業・進級の認定基準
(概要)・1月中旬頃に、非常勤教員に参加していただいたの教員会を開催し、成績や授業態度等について意見をもらい、最終的な卒業・進級の判定は校長が行う。
学修支援等
(概要)・欠席等があった場合は、定期試験前の放課後あるいは長期休暇を利用して補習を行っている。また国家試験前は補講等を行っている。 実技面においては、放課後を利用して実技上達のために支援している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
32 人 (100%)	0 人 (%)	30 人 (93.8%)	2 人 (6.2%)
(主な就職、業界等) ・歯科医院			
(就職指導内容) ・求人票の見方、見学および面接時の挨拶の仕方など			
(主な学修成果（資格・検定等）) ・歯科衛生士			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
107 人	7 人	6.5%
(中途退学の主な理由) 単位未修得、精神的(対人関係構築不可)なもの		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任による面談や学習支援を行っている。		

②学校単位の情報

a)「学生納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
歯科衛生 士科	200,000 円	400,000 円	130,000 円	
歯科技工 士科	400,000 円	550,000 円	1 年次：250,000 円 2 年次：300,000 円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己点検評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.kdic.ac.jp/about		
第三者評価の基本方針（実施方法・体制） ・歯科医療界の要求や時代の変化に対応ができる学生を育てるために、教育目標や教育環境等についての自己評価の結果や学生の状況報告等に対して意見をいただき、より良い教育活動や学校運営の改善に活かしていく。委員会を構成する委員は、歯学教育に関する有識者、地元企業関係者等とし、校長が委嘱する。		
第三者評価の委員		
所属	任期	種別
鹿児島大学大学院医歯学総合研究 科教授	2026.4.1～2027.3.31	医歯学教育有識者
鹿児島大学歯学部名誉教授	2026.4.1～2027.3.31	歯学教育有識者
鹿児島県歯科用品商組合会長	2026.4.1～2027.3.31	関連企業
全日本ジャズ体操協会副会長	2026.4.1～2027.3.31	健康運動指導士
第三者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.kdic.ac.jp/about		
(備考)		
・第三者評価委員会は未実施。実施に向けて検討中。		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

<http://www.kdic.ac.jp/about>